

2020 年度「入学前特別講座Ⅱ」の報告書

1. 「ライティング講座」の成果と課題

ライティングセンター

2020 年度に実施したライティング講座の成果としては、入学後の必修科目である「アカデミックライティングⅠ」の内容を提供出来た点にある。特に、高等学校で取り組んできた小論文と、大学で求められるレポート・論文との違いを中心に講座を実施することが出来た。入学後の学びに支障をきたさないことを目標に講座を行った。

受講者からは、小論文、レポート、論文との違いについて理解出来たという感想を多く確認することが出来た。盗作と盗用についても理解をすることが出来たという感想もあり、大学で求められる研究倫理の初歩を伝えることが出来たことも成果と言える。

次年度においても、入学前特別講座を受講した生徒に対してアンケートを実施することによって、ライティング講座の効果を引き続き、検証していく予定である。

<講座の成果（受講者の感想から）>

- ・小論文、レポート、卒業論文の違いや書き方をとても分かりやすく説明していたので、よく理解できました。
- ・小論文や論文、レポートの違いや常体を用いる、語句を明確に使うこと、盗作、盗用などはしてはいけないなどを知ることができて良かったです。
- ・レポートの書き方や論文などとの違いについて、先に学ぶことができたので、良かったです。
- ・小論文、レポート、卒業論文の違いや書き方をとても分かりやすく説明していたので、よく理解できました。入学後も学習したことを生かしていきたいです。
- ・高校の小論文とは、違ってレポートや論文の知識をもっと身につけないといけないと思った。
- ・この講座を通して小論文、レポート、論文の違いがはっきりわかりました。
- ・大学では課題でレポートを書く機会が増えるので、この講座で学んだことを軸に文章を書く力を鍛えていきたいと思いました。
- ・高校の小論文とは、違ってレポートや論文の知識をもっと身につけないといけないと思った
- ・小論文、レポート、論文の違いは何か気になっていたもので、わかりやすく教えてくれてよく理解できました。
- ・レポートと小論文の違いを理解することが出来ました（12）。
- ・レポートは小論文と違って、たくさんルールがあるとわかったし、一気にレベルが上がるのが想像できたので、失格とならないようにしっかりと学んでいきたいと思いました。
- ・説明も具体的で分かりやすかったです。わかりやすかった（8）。表もあって分かりやすかった（3）。
- ・書き方がわかりました（3）。とてもためになりました（6）。
- ・自分が間違えたところも説明が分かりやすくて、すぐ理解することができた。
- ・難しそうだと思った。違いが難しかったです。論文での言葉の使い方が難しいなと思った。
- ・小論文との違いや、これから書くレポート、論文などのルールなどを知ることができてよかった。（2）
- ・自分は論文とか苦手なので、積極的に書き方を学習しに行こうと思いました。
- ・ライティングセンターも活用していきたいです（3）。

- ・今まで小論とレポートと論文の違いが分からなかったが、動画を視聴して、大学には論文の書き方を教えてくれるところもあったので安心した。
- ・大学に入ってからレポートの書き方について不安だったけど解消できた。
- ・コミュニケーションとライティングの関連が深いことが初めてわかった。
- ・論文がどんなものかが分かり、とても難しいと思い、入学後じゃなくて今から学力や読解力を上げていかないといけないと思った。
- ・レポートや論文の書き方のイメージを付けることが出来ました。大変そうだけど頑張ろうと思いました。
- ・凄く勉強になったし、大学生活に向けて心構えができたので良かったです。
- ・大学のイメージが少し想像できた
- ・入学後も学習したことを生かしていきたいです。

2. 「英語講座」の成果と課題

言語学習センター

<成果について>

- ・ワークショップ当日の学生のフィードバックからは、本学の学生チューターと入学前の高校生が交流する事により、大学の学生や言語学習センターの学生チューターに馴染みを持てた結果となっていた。
- ・当日の参加者のフィードバックからは、英語学習に関するモチベーションの向上とオンライン技術の向上を実感したことが数値的に示された。
- ・入学前講座に参加した新入生で、来学期の LLC 新チューター応募に応募した学生が 1 名いる。面談を行った際、入学前講座が楽しかったことと、実際 LLC のチュータリングを受けて、感動し、チューターになりたい、とコメントした（面接官は LLC 専任教員の笠村担当）。
- ・ワークショップの主催者側として参加したチューターからは、オンラインワークショップの実践を通して、オンラインでの対応の仕方の難しさおよび今後どのようにすべきか、学ぶことが出来たというコメントが多く、チューター自身の成長につながった可能性は高い。

<課題について>

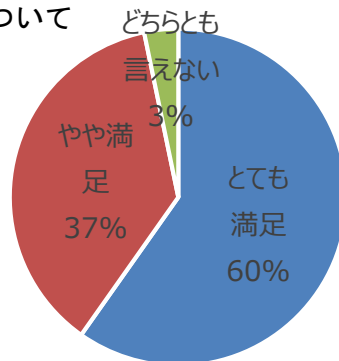
- ・北部対象の入学前特別講座と全員対象の入学前講座（E ラーニング）の違いが明確でないために、重複部分や不足部分が予想される。
- ・入学前特別講座の受講生の入学後のフォローアップ（例えば、具体的な個人の英語の成績など）がないために、実際の講座の効果やその後の支援が明確でない。
- ・高校の教員と連携して具体的に教科ごとで合同会議などを開催したいが、高校側が忙しいために、具体的な生徒の実態や大学に求められる講座にふさわしい内容にすることが難しい。
- ・LLC 入学前講座に参加した学生の LLC 利用者数を調べた結果、4 月から 7 月初旬までで 8 名の利用者にとどまった。その中の 1 名を除く全員が課題で LLC を一度だけ利用している。ワークショップの目的として、新入生が自主的に LLC を利用する目的は達成できていないようである。
- ・「継続的な支援」につなげる工夫は、個人レベルも考慮しながら行う必要性を感じる。（例：神田外語大学のようにチューターによる長期的個人の進歩プログラムなど。）

<付録 事後アンケートの結果>

1. ワークショップ参加状況

2月24日	3月3日	3月10日	延べ人数
35名	27名	30名	92名

2. 内容について



3. 難易度について

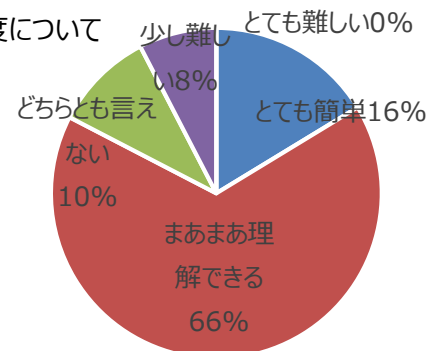
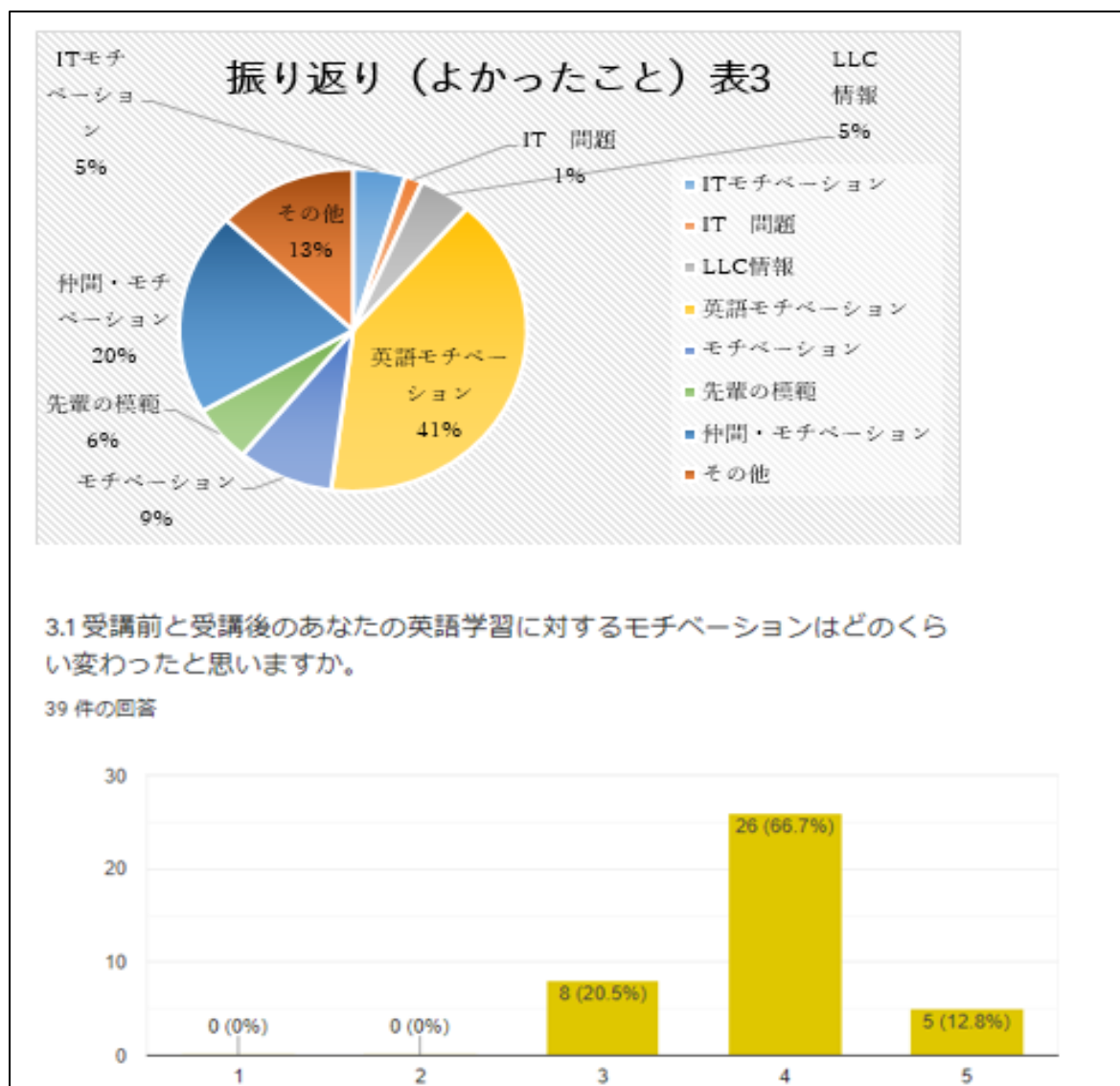
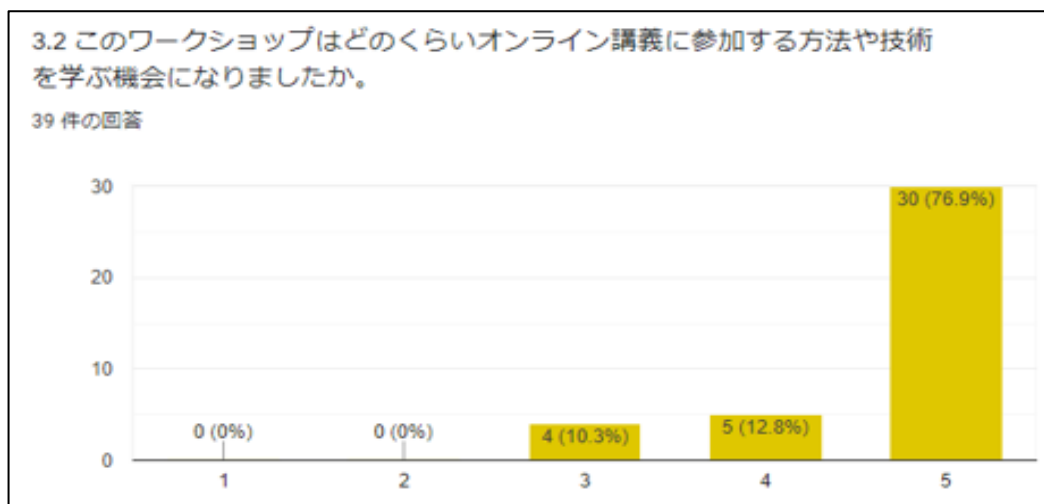


表3は、コメントの似通ったものをグループ化





3. 「統計学基礎講座」の成果と課題

数理学習センター

<成果>

- ・事前に診断テストを実施し、授業クラスと自習クラスに分けて実施したのは、双方にとって有意義であったと思われる。3日間の講座では、すぐに知識量や計算力の成果が表れるものではないが、入学前学習の必要性や、入学後の抱負などが述べられ、講座の満足度は予想より高かった。
- ・高校生同士またはチューターの学習支援を受けて学びが深まったことや、本学のピア・ラーニングを体験することができモチベーションアップに繋がったと思われる。
- ・今後に向けた抱負を述べた記述もあり、入学前の学習環境を与えることの重要性を知ることができた。入学後の学習意欲につながるコメントも多く、入学前特別講座の学習成果が感じられた。
- ・入学前学習(eラーニング)教材「数学」の内容を考慮したうえで、単なる計算ドリルではなく、文章読解と表やグラフを読み取る問題を取り入れ、講座内容を検討したことが満足度に結びついていると考えている。

※入学前学習(eラーニング)「数学」の内容は、小学校からの「基礎・基本」の学び直し教材であるが、SPI 数的推理等の問題を解くために必要な内容であり、リメディアル教育を必要とする新入生が例年3割程度いることから、本学の入学前学習として適切な内容であると判断している。しかし、eラーニング教材であるため、基礎力のない生徒には内容理解と知識・技能の定着には至っていないと判断している。

<課題>

- ・講座の事前調査で9人から「3日間欠席します。オンラインでも参加不可」という回答があった。実際はその中の5人はオンラインで参加した。しかし、連絡なしで3日間欠席した生徒が4人いた。参加の可否の希望調査があるということで、参加が自由であるという判断をしたのではないかとと思われる。参加の可否については、高等学校の先生方と連携して事前指導が必要である。
- ・日程的な件も考慮して自習クラスはオンデマンドでも可能であるとしているが、参加できない理由について、高等学校側で事前に把握することはできないのか連携する必要がある。
- ・授業クラス内でも習熟度に差があり、その対応も検討する必要があるが難しい課題である。
- ・連絡のない生徒に個別にメールを送信しても返信がなく、対応ができなかった。
- ・事前にデータの送受信ができるアドレスの入手が必要である。

<受講者の事後アンケートより、目的別成果につながるコメント>

① 文章問題をじっくり解かせ、読解力、集中力、思考力の向上を意識させる。

- ・ 考えないと解けない問題が多くて、忍耐力が身についたと思う。
- ・ 授業クラスは対面で受けるので、集中力も高まるのでいいと思った。
- ・ 考える事が楽しいと思った！この3日間で、数学力が上がったと思うので来て良かったです。
- ・ 読解力やグラフを読みとる力が身につくと思うので良いと思う。
- ・ 統計学の基礎について、いままでより理解を深められたので参加して良かったです。

② 数学基礎力の必要性を理解させた上で、大学生活をスタートさせる。

- ・ 3日間の講座を通して、数学をもっと勉強しようという意欲が高まりました。
- ・ もっと頑張ろうと思えるいい機会になった。
- ・ 入学前に自分の実力を知って、モチベーションも上げることができて良かったです。
- ・ 数学の苦手意識を無くし、勉学に励む大切さを学びました。
- ・ 入学前に自分の実力を知って、モチベーションも上げることができて良かったです。
- ・ 数学は苦手だけど大学でも頑張れそうと思った。
- ・ 入学までにしっかり復習などをして、入学後に備えていきたいと思いました。
- ・ 入学後も学習したことを生かしていきたいです。
- ・ 入学する前に自分がどれだけ勉強できるのかを知ることができて良かった。
- ・ 楽しく勉強することかできて出来た。復習を怠らずこれからも頑張っていきたいと思いました。
- ・ 大学の授業についていけるようにもっと勉強頑張りたいです。
- ・ 自分が苦手なところがたくさんあったので、入学までにしっかり復習などをして、入学後に備えていきたいと思いました。
- ・ もっと、高校の数学を復習して実力テストに臨みたい。
- ・ 読解力が弱いので問題が解くのに時間がかかったり解けなかったりした。もう少し読解力をつけたいと思った。



写真 入学前特別講座Ⅱ「統計学基礎」講座の様子（工夫した解き方を説明をしている生徒）